

<参考資料:小池環境大臣が「FUROSHIKI」展に寄せたメッセージ>



レジ袋を断ろう

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

今、容器包装リサイクル法の改正に向けた議論が進む中で、

“レジ袋”の扱いが課題になっています。

“レジ袋”は1年間におよそ60万トンがごみになっています。

また、容器包装全体の量では、容積で家庭ごみの6割を超えています。

そこで、レジ袋や紙袋に代わるものとして 日本の伝統文化であった

“ふろしき”が、循環型社会を考えるきっかけになるのではないかと考え、

「もったいないふろしき」なるものをつくってみました。

ペットボトルを再利用した布地に、江戸時代の画家、

伊藤若冲(いとうじゃくちゅう)の花鳥図をあしらったものです。

「もったいないふろしき」も展示される今回の「FUROSHIKI展」は、

日本を代表するアーティストの方々や、日本の文化を牽引されている方々に、

地球温暖化対策・循環型社会構築の一環として、

ふろしき文化の再発見と新しい活用法を提案いただいた、ユニークな試みです。

循環型社会を築いていた江戸時代のふろしき文化を、

日本だけでなく、ぜひ世界にも広げていきたいと思います。

環境大臣

小池百合子